

肌のうるおいを保持する洗顔料製剤技術 洗顔後の「肌の乾燥、つっぱりを予防する」洗顔料を開発

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:三浦卓士)は、「洗顔後の肌の乾燥、つっぱりを予防する」新たな製剤化技術を開発しました。この技術は今後、洗顔後の乾燥感を改善した、うるおい実感の高い洗顔料への幅広い応用が期待されます。

この成果は、ポーラ・オルビスグループの株式会社ポーラから今秋発売される化粧品に活用される予定です。

開発の背景

洗顔料で顔を洗った後、肌がつっぱる、乾燥感を感じる、という声が寄せられることから、近年、「洗顔直後のうるおい」を訴求した洗顔料の開発が盛んになっています。ポーラ化成工業では、洗顔後に肌表面の水分量(角層水分量)が低下する事実に着目し、この角層水分量の低下を抑え、肌のうるおいを保持する洗顔料の開発を目指しました。

うるおい保持製剤技術の開発

洗顔料などの洗浄料化粧品は、最後に「洗い流す」という動作が加わるため、肌に保湿剤等を残すことが困難でした。そこでポーラ化成工業では、肌への吸着性の高いカチオン性の原料に着目し、カチオン性高分子に保水力のある高分子を絡ませ保水膜として肌へ残すことで、洗顔直後の肌の乾燥、つっぱりを予防し、うるおいを感じられる洗顔料の開発が可能であると考えました。

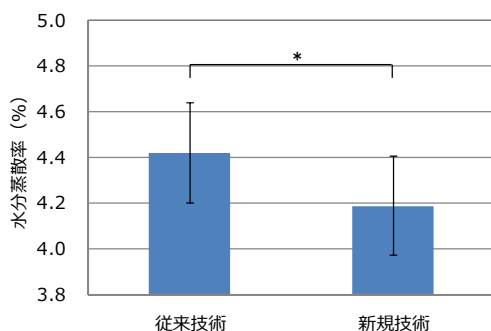
うるおい保持効果

洗浄後を想定したモデル実験^{※1} で検討した結果、カチオン性高分子だけを使用する従来技術よりも、保水力の高い高分子を絡ませた新規技術では、水分蒸散(乾燥)が抑えられることを確認しました(図1)。

また、洗顔後 15 分経過した時点でのうるおい保持効果を、角層水分量の測定により比較評価した結果、新規技術を用いた洗顔料の方が、角層水分量の保持率が有意に高いことが確認できました(図2)。

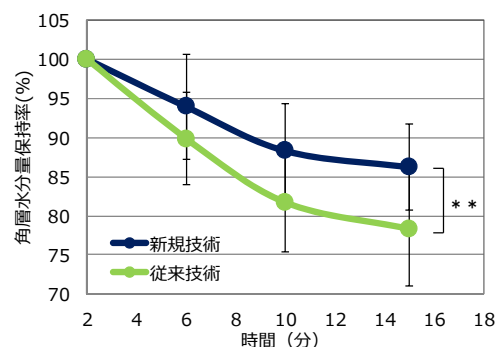
さらに、洗顔料使用後の肌の状態に関するアンケート調査^{※2} においても、新規技術を用いた洗顔料の方が、洗浄後の肌のやわらかさ及びびなめらかさが優れる、と使用者全員が回答したことから、肌のうるおいが保持され、乾燥、つっぱりを予防できることがわかりました。

図1.モデル実験での水分蒸散抑制効果



n=6, mean±SD, *, p<0.05, t検定

図2. 洗顔直後からの角層水分量の変化



対象: 20~50代の健康女性 16名, **, p<0.01, 対応のあるt検定

※1 水を入れたカップに、高分子水溶液をのせた薄膜でふたをし、温湿度一定条件下に一定時間放置した際のカップ中の水の水分蒸散率を測定。

※2 対象: 20~50代の健康女性 11名。

【本件に関するお問い合わせ先】(株) ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543